

(参考様式4)

事業所名 グループホームぶどうの家

目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	施設で金銭を使う場面がない。	金銭もしくは、それに準ずる物を使用することで、利用者が自身の尊厳を維持し、自分らしく生活を送ることが出来るようにしていく。	感染対策に十分留意しながら、家族の同意を得たうえで買い物に同行して頂き、支払いを職員に変わってして頂く。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述2
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年度ごとのスローガンを職員の応募と投票により決定し、各部署で唱和しその実践を心がけている。 法人理念は施設内に掲示し、毎月事務連絡等で発信し目に触れやすいようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の保育園、幼稚園とのプレゼント交換や配食サービスのプレゼントを作ったりと関りをもっている。 看護学生の実習を受け入れ、実習の後には書面で質問事項のやりとりなども行っている。	・地域と交流を行い、積極的に活動を行っている。 ・配食サービスに毎回色彩の美しいプレゼントを持参され、お弁当に彩りを添え大変喜ばれています。 ・配食サービス時、手作りのプレゼントを作って頂き、ありがとうございます。 ・近隣散歩や看護実習受け入れなど、感染症対策をしながら地域との頻回な交流を行っている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	奇数月に近隣の方をお招きして、運営推進会議を実施している。施設の活動状況や取り組みについて報告するほか、地域のイベントや活動の情報を教えて頂いている。	・情報交換の場として有意義であり、サービス向上に活かされている。 ・運営推進会議にて活動報告や意見交換はあるが、「評価項目」である運営推進会議からの意見がサービス向上に繋がっているとは評価はできず。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の高年介護課、地域包括支援課等の担当窓口には介護保険制度の改正やサービスの取り組みなど、折に触れて相談に訪れている。また、担当の地域包括職員が運営推進会議に参加してくれている。	・市との情報共有が計られている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員会を設置し、指針を作成し3か月に一度会議を実施している。また、毎年度勉強会を実施し、職員の身体拘束についての知識を高めるとともに、意識向上につなげている。		A. 十分にできている×6 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	委員会の開催、勉強会の実施を確実にを行い、職員の意識向上に努めていく。また、勉強会の内容などを運営推進会議で伝えていく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待について勉強会を毎年実施し、職員の知識と意識の向上に努めている。また、入浴時等のボディチェックによる虐待の早期発見と、虐待を発見した際には速やかに関係機関と協力し対応する体制を整えている。		A. 十分にできている×6 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	虐待防止委員会を設置し、法人内の全事業所と意見交換を実施していくとともに、関係機関との協力対応体制の強化に努める。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護や成年後見制度について学ぶ場を持ち、施設内研修で職員に周知し、日常の関りの中で本人の意思決定を尊重できるよう関係者と相談しながら支援している。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時や契約解除時には本人や家族等に不安や疑問等を伺い、説明や相談を十分に行い、納得を得られるように努めている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からは日常の会話の中で、家族からは来訪時やラインの中で等、様々な機会を通じて意見、要望を伺っている。また、意見箱の設置も行っている。伺った意見や要望は、カンファレンス等に図って、必要な対応をとるようにしている。		A. 充分にできている×2 B. ほぼできている×4 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	LINE やその他のツールを用いたり、受診や面会時等様々な機会を通して意見や要望を聞き出している。伺った意見、要望について必要な対応を行い、それを運営推進会議等で報告し、すべてが見える化にある運営を行っていく。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の朝礼やカンファレンス等で提案を聞いたり、毎月のリーダー会議で部署毎に改善した点等共有している。その他、個々に面談の場を設けて意見や提案を聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の個性や能力に応じた活動を役割としてもってもらっている。勉強会を担当し、知識の定着と向上心を持てるようにしている。チャレンジカードで目標を定め、実行することで達成感を感じられるようにしている。職員専用の休憩室を設け、食事代の補助も行っている。		A. 充分にできている×4 B. ほぼできている×1 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	今後も自己の目標を達成する充足感を感じながら、様々な勉強会の資料作り等で、各自が向上心を持って働けるように職場の環境を風通しよくするよう努めることを続ける。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修を積極的に案内し、重要な研修には参加を勧めている。年間計画に基づいた内部研修を実施し、伝達研修等で全職員が受講できる環境を整えている。資格取得のために勤務の調整も行っている。		A. 充分にできている×3 B. ほぼできている×2 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	外部研修、内部研修への参加を積極的に勧め、研修を担当し、資料作成等を通じてのスキルアップも図っている。資格取得の案内も提供し、様々な研修に参加できるよう取り組んでいくことを継続する。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH 部会に参加し、行政や同業者との交流を行っている。GH 部会主催の職員交流会にも積極的に参加している。			

		ービスの質を向上させていく取り組みをしている		法人内においても計画作成勉強会で相談や意見の交換を行っている。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症について勉強会等を通じて、適切な介護のもと利用者が自立した生活を送ることの大切さを学んでいる。表情や会話、気持ちに配慮しながら、日々の生活の中で気持ちを共有した時間を過ごし、安心して暮らせる関係性の構築をしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	LINE やメールにて日々の様子を家族に伝えたり、面会時もアクリルボードを挟んでではあるが同じ空間で過ごせるよう配慮している。面会や外出、外泊についてはコロナ禍より制限をお願いしているが、順次緩和に向けて検討中である。	・アクリルボードの活用など、面会方法の緩和を順次実施しているが、感染症の流行により随時内容を検討している。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけこれまでの生活を感じられるように、本人や家族から意見や希望を聞いている。 本人の変化を支援記録や個人記録に記録し、職員間で共有している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族からの要望、主治医の意見、日頃の様子や気づき等をケアカンファレンスで共有し、本人本位の支援計画をたて、家族の了承を得ている。ヒヤリハット報告書や事故報告書も参照しながら、モニタリングを行い、状態変化を見直し。計画書の見直しを行っている。	・ヒヤリハット報告書や事故報告書の詳しい内容や改善点の報告を希望する。また、次の運営推進会議で経過の報告なども期待する。	A. 十分にできている×2 B. ほぼできている×3 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	利用者本人や家族の意見、要望を丁寧かつ細目に聞き取り、カンファレンスの実施と情報の共有を確実にやっていく。事故内容と改善点を運営推進会議にて発信していくようにする。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	㊟. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル記録や状況、気づきやヒヤリハット内容をケース記録や支援経過記録へ記載し、職員間で情報共有をしている。またスマホのトーク(チーム手帳)も活用して各職員間で情報共有してケアカンファレンスへ活かし計画書の見直しを随時行っている。		A. 十分にできている×5 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	日々の記録をしっかりと行い、各種ツールを用いて職員間での意見交換や情報の共有に取り組んでいく。そのうえでカンファレンスを実施し、介護計画の見直しを図っていく。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の通院支援や外出等の要望は、都度相談しながら柔軟に対応している。また、家族の施設内立ち入りは感染予防の観点から制限させていただいているが、看取り終末期の方については、感染予防着の着用に協力いただき、自室内面会を実施している。	・ACPがあればご報告いただきたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	民生委員、警察、消防等安心して暮らしを支える地域機関との連携は保てている。消防署や防災設備点検時の消防訓練の消火器使用の練習や、配食サービスのプレゼント作り等、それぞれの力を発揮しながら安全な暮らしを楽しめるように続けている。	・配食時、手作りプレゼントを届けられ、手渡しで受け取ることで、感謝やねぎらいの気持ちを伝えあえる場になっている。 ・傾聴ボランティアの活用や ICT を利用したボランティア(フラダンス等)との交流など、感染症対策をしながら地域資源と協働している。 ・今後も感染症対策しながら、積極的な地域交流を希望する。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本人や家族などの希望するかかりつけ医を選んでいただいており、変更も自由である。受診には基本的に家族が同行し、結果報告を家族から受けることにしている。家族が不可能ときには職員が同行し、適切な医療が受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が入院した場合その主治医をはじめ医療連携室や専門機関と情報交換や相談を重ねて退院に向けた支援をしている。		A. 充分にできている×2 B. ほぼできている×2 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	医療関係との素早く丁寧な対応の為に入院時に必要な基礎情報をまとめておく。円滑な情報交換や相談が行えるような関係構築をすすめていく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合の対応について事業所の指針を作成し、対応しうる最善のケアについて利用者、家族に説明の上で同意書をかわし、方針を共有して家族が納得できるよう支援をしている。重度化に関する研修を定期的に行い、職員の知識とスキルアップを図っている。看取り後の振り返りも続けている。		A. 充分にできている×2 B. ほぼできている×2 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	利用者本人や家族と話し合いを続け、気持ちの変化を共有し、支援計画に反映させていく。研修や振り返りを通じて職員の意識や技術の向上をはかっていく。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルをフロアに掲示しマニュアルに沿った対応をするように徹底している。事故シミュレーションを2か月に1回行い、実際に事故が起こった際の対応を身につけている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回災害における避難訓練や消火訓練と2か月に1回のミニ避難訓練(災害時の想定訓練)を利用者にも参加してもらいながら実施している。避難経路の確保や避難時の人数確認など、繰り返しの訓練を続けている。災害時用の備蓄、備品も整えられている。地元との関係も深く、協力体制も築けている	・地元との協力体制が行われている。	A. 十分にできている×3 B. ほぼできている×3 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	消防訓練やミニ避難訓練、BCPに基づいた訓練を実施し、職員に必要な行動が定着するよう継続していく。運営推進会議の構成員である地域の消防団員とも信頼関係を築き、日ごろから協力できる体制づくりに努めていく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	接遇委員会を設置し、研修で挨拶の仕方や言葉遣い、身だしなみ、電話の応対方法や、プライバシー保護の勉強会においては尊厳の自由等毎年勉強している。利用者への接し方や言葉遣いなど、職員同士で注意しあえる関係づくりに努めている。		A. 十分にできている×2 B. ほぼできている×3 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	研修を通じて職員の利用者の人権への意識向上をはかり、日々の言葉遣いや身だしなみについても接遇委員による日々の啓発を行っていくことで、接遇に対し常に意識していくことができるよう努めていく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のペースで過ごしてもらえよう、日常のことであっても常に声かけを行い、意向を確認している。。行事等においても参加の有無を聞き、自身の時間の使い方を自身で選んで頂いている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内で準備された料理を提供しているが、自家農園で収穫された野菜を使って追加の一品を利用者と一緒に作ったりもしている。野菜を洗ったり包丁で切ったりと下準備も楽しんでいる。後片付けも声かけして効力してもらい、役割をこなす達成感を感じてもらっている。		A. 十分にできている×2 B. ほぼできている×3 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	職員と一緒に、農園で収穫された作物を使って準備や調理を行っていただいたり、後片付けをしたりと、役割をもち達成する喜びを得る事が出来るよう継続していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好みの飲み物を提供したりして水分摂取量が保持できるよう努めている。利用者に応じた食事形態と食事量を提供している。その日の状態に合わせて看護職とも相談しながら、必要な栄養や水分が摂取出来るよう支援している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事後は口腔ケアの声かけを行い、個々に合わせて実施の支援をしている。不具合時には訪問歯科診療へつなげていくことを続けている。		A. 充分にできている×6 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	口腔ケアの実施の支援と、口腔内の状態観察を行い、必要に応じて訪問歯科往診等につなげていく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者個々の排泄パターンを職員全員で共有し、声かけの時間を調整したり、本人のしぐさなどからさりげなく誘導し、トイレで排泄する支援を続けている。排便の有無を確認し、便秘薬の服用等看護師と相談しながら対応している。		A. 充分にできている×6 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	排泄状況のこまかな記録を実施し、声かけや環境整備を実施し、排泄パターンの変化に応じて時間調整等を行うことで、排泄の自立を促す支援を継続していく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の身体状況に応じて一般浴や機械浴を使用し週3回の入浴を楽しんで頂いている。気が向かない時には翌日に振り替えたり、体調不良時には看護職とも相談して清拭を行い清潔を保っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者個々の状態把握に努め、状態に応じて横になって休息したり、就寝介助の時間を変えて夜間の安眠を得られるように支援している。重度化された場合もポジショニングや適宜の体位交換等で体の負担を減らすよう努めている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	服薬前には「薬事情報」を用いて用法、用量を必ず確認して誤薬のないよう服薬支援をしている。薬剤師から薬の勉強会を実施してもらい、薬の効用や副作用について理解をしていけるようにしている。		A. 充分にできている×3 B. ほぼできている×3 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	薬事情報を職員で共有し、服用目的や副作用等について理解していく。薬剤師の方にも協力してもらい、勉強会等で薬についての知識を深めていく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	会話や家族からの聞き取りで趣味や興味、生活歴を把握し、それぞれの好みに合わせた役割を提供していくことで、喜びのある日々となるよう支援している。支援内容を運営推進会議の活動状況で報告している。	・好みに合わせた楽しみごとをされている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	近隣を散歩したり、園芸作業をしたり、自家農園に行って季節の野菜を収穫し調理して頂いている。重度の方は季節の花をお部屋に飾ったり、季節の野菜を見てもらったりしている。	・色々な所に外出され、喜ばれている。 ・もともと野菜や花づくりの得意な方がデイサービスを利用されることになり、プランターでの花づくりの体験で、職員の方からほめてもらったことをとても喜び、誇らしく話しておられた。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修等で金銭を所持したり扱う事が大切である事は理解しているが、施設内では金銭を使う場面がない。コロナ前は買い物に行ったりした際に支払いと一緒にしたりしていた。今後また、そういった活動も取り入れていきたい。また、施設内でも金銭に準ずるようなものを活動に取り入れていきたい。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人希望で常時可能な体制を取っている。ラインのビデオ通話を使って顔を見ながら話をしたりもして頂いている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人の能力や身体状況に合わせた生活が出来るように見守りや声かけ、介助を行っている。食堂兼リビング、廊下等装飾や家具の配置に配慮し家庭的な雰囲気作りに努めている。季節感のある作品を皆で作成して飾ったり、生活感があり居心地よく過ごせる工夫をしている。		A. 充分にできている×7 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	家庭的な空間の中、季節感のある作品を皆で作成し、それをリビングなどの共有スペースに飾り、季節を感じながら穏やかに過ごしていける工夫をこれからも続けていく。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの暮らしの延長の生活が送れるよう希望を聞いている。本人の希望の確認が困難な場合は、家族と相談しながら生活を組み立て、役割を持って過ごして頂いている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にアセスメントやフェースシートへ記録して把握をしている。一人一人の生活歴や暮らしぶりの情報を家族からも聞き取り把握に努めてケアプランに反映しサービス提供を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の日々の状態を把握し、家族とも共有している。状態に変化がみられた時は介護と看護で連携して状態把握に努め、速やかに家族、かかりつけ医に連絡相談している。		A. 充分にできている×5 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	看護師と協力して日々の状態観察をこまめに行い、日ごろから主治医と情報共有を密にし、変化があった際は素早く対応していく。

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人のペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。行事等への参加についても、意見を確認し、自身の過ごし方は自身で決めて頂くようにしている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	㊟. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	使い慣れた家具を持参頂き家族の写真やご自身の作品などを飾って頂いている。思い入れのある物は自室の中で大事に保管して身近に持つことができている。		A. 十分にできている×5 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	家族と協力しながら、利用者にとって大切な物、使い慣れた物を身近に感じ、これまでの生活と連続性のある生活を送って頂けるようにしていく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の散歩や、近隣の神社へのお参りやお花見など、季節を感じられるような外出等、希望に応じて戸外へ出かけられるようにしている。	・地域の夏祭り、秋祭りに参加され喜ばれている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	㊟. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のさまざまな役割を、その日の気分を声かけして確認しながら行ってもらっている。その日のしたいことをしてもらうよう希望を確認している。自分で選んだことを楽しんでもらっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	㊟. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自身の趣味や家事を日常的に行って頂いている。家族や友人と面会だけでなく、ビデオ通話で話したりしている。仕事や趣味、生活歴について会話の中で聞き、当時のことをいきいきと話して頂けるようにしている。		A. 十分にできている×6 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	日常生活の会話の中で昔の生活歴や仕事のことをいきいきと熱く語っていただくことや、手作業の配分等、日々の過ごし方を自身で決めることで、納得し満足しながら生活をおくっていただけるよう努める。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の幼稚園児や保育園児への季節行事の手作りのプレゼント交換を続けたり、配食サービスのプレゼント作りで地域の人々とかかわり交流を続けている。	・交流を通して地域との関りができている。 ・配食サービス時、手作りプレゼントを届けられ、手渡しで受け取ることで、感謝やねぎらいの気持ちを伝えあえる場になっている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	㊟. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は信頼関係を築けるよう、日々利用者の気持ちに寄り添いながら、安心できるような声かけや対応を行っている。信頼できる職員とともに日々を、散歩やイベントなどで地域の方と関わったりしながら過ごして頂いている。	・十分に信頼関係が保たれている。 ・当初、施設等の集団の場を嫌っていた方が、必要に迫られて利用されたところ、職員の対応にとても感心され、信頼をもたれたという話を聞いた。 ・運営推進会議での報告より、ご利用者に対して質の良いサービスを提供していると評価する。	A. 十分にできている×7 B. ほぼできている×0 C. あまりできていない×0 D. ほとんどできていない×0	利用者に関わる時間を確保し、その中で知り得た情報を職員間で共有していくことで、利用者が共に生活を送っていると感じ、安心してより生き生きと生活できるよう努める。